

みやぎZEB研究会 キックオフシンポジウム

当研究科は、2013年に発足した全学組織「エネルギー研究連携推進委員会」の代表部局として、東北大学のエネルギー研究の集合体としての価値を高める活動を主導してきた。その成果のもとに2019年4月1日に設立されたのが、学際研究重点拠点「エネルギー価値学創生研究推進拠点」(拠点長：土屋範芳研究科長)である。この拠点は、新しい学問としての「エネルギー価値学」創生に向けて、理想とする持続可能社会からのバックキャストによる目標値を設定し、エネルギー研究を戦略的に推進し、自然科学、人文・社会科学を融合した新たなパラダイムを創出することを目的としている。この活動の一環として、2020年は宮城県内における

ZEB (Net Zero Energy Building) の普及促進のため、「みやぎZEB研究会」を立ち上げ、キックオフシンポジウムを開催した。コロナ禍の中での開催となったが、産学官それぞれの分野から、会場定員の上限に近い約89名の参加を頂く盛況となった。

日時：2020年11月4日 15:00-17:00
会場：青葉山キャンパス 工学研究科 中央棟 大会議室
参加者：89名



仙台市・宮城県との環境教育に関する連携活動

本研究科は、一般市民を対象とした環境教育の一環として、自治体による小学生向けの環境学習講座開催に協力している。2020年はCOVID-19の影響を受けて講座開催は見送られた。仙台市との連携に基づく「せんだい環境学習館 たまきさんサロン」を中心としたアウト

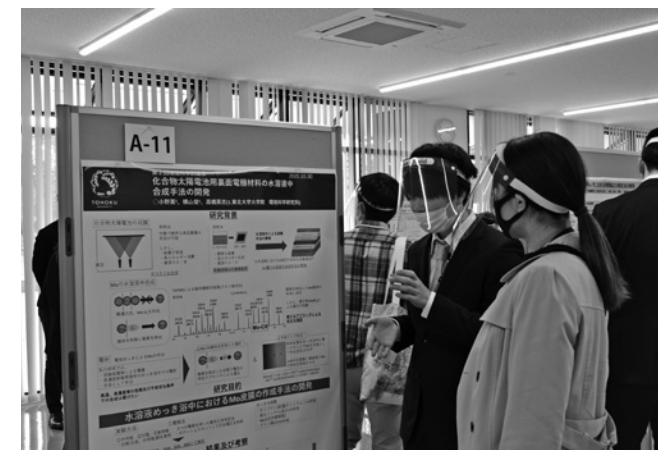
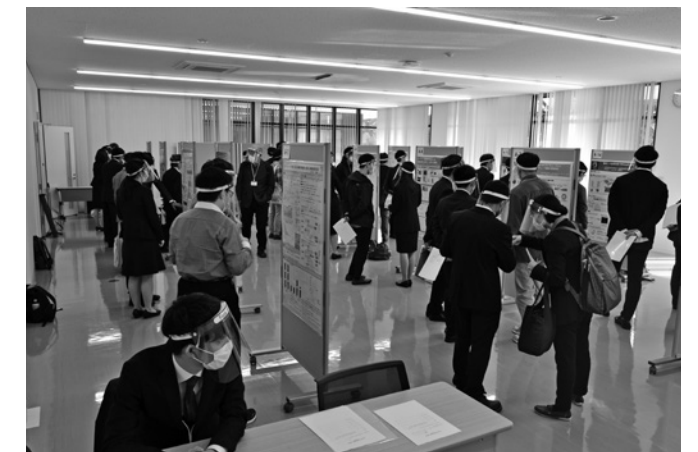
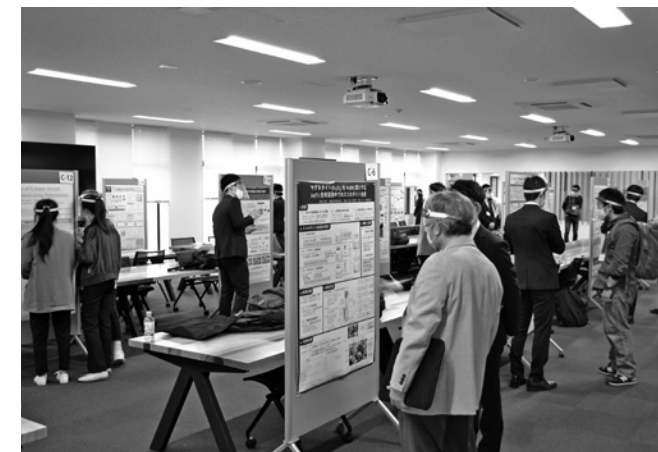
リーチ活動である「サロン講座」も、2020年は1件の実施に留まった。講座名と実施日、担当教員は下記の通りである。

【仙台市実施 たまきさんサロン講座】
2020年8月29日
廃泥土のリサイクル / 高橋弘 教授
参加者：14名

第2回環境科学討論会 2nd Academic Forum on Environmental Studies

2015年より、環境科学研究科は発足以来続いた1専攻体制を改組し「先進社会環境学専攻」と「先端環境創成学専攻」の2専攻体制となった。この変革にあたり、専攻間やコース間の研究交流を促進し、専門分野間の情報交換を活性化させて研究科内の良好な融合と境界領域の開拓を目指すため、年2回のペースで「研究交流会」を開催してきた。これまでの開催で、すべての研究室から発表頂いたことを受け、2019年からは新しい試みとして学生のポスター発表を中心に「環境科学討論会」として新たにスタートを切ることとした。第2回目となる今回は、コロナ禍の中での開催となったが、予想を大きく上回る72件のポスター演題応募があり、感染対策を慎重に講じた上で、総勢127名が熱心に研究交流を行った。開催日時ほか、各賞受賞者を以下に記す。

日時：2020年10月30日 13:00-18:30
会場：環境科学研究科本館 展示スペース2、大会議室
発表数：72 演題
参加者：127名
受賞者：
○ 研究科長賞
加藤裕太、楊心怡
○ 優秀ポスター賞
Jingwen Wang、堀合理子、大友真由
志村龍之介、江畑聡一郎、杉山智哉、Yifan Zhu、佐藤花菜子
竹森達也、後藤遼太、青木晃司、土田恭平、小野薫、友山恵



環境科学研究科オープンキャンパス

オンラインでの開催となった2020年のオープンキャンパスでは、本研究科を構成する53の研究室のうち、27の研究室が動画と特設サイトを通じて研究内容を紹介します。参加研究室は下記の通りである。

- エネルギー環境群：坂口研、高橋(弘)研、土屋研、岡本研、井上研、高橋(英)研、佐藤(義)研、上高原研、駒井・渡邊研、柴田研、加納研、福山研、小俣研、伊藤研
- 化学・バイオ群：吉岡研、壺岐研、珠玖研、スミス研、大田研
- マテリアル群：葛西研、成田研、コマロフ研、和田山研
- 環境・地理群：李研、小森研



入試説明会

2020年は、春入試のための説明会をオンラインで開催した。参加者にはまず研究科のウェブサイト上で、入試実行委員長中谷教授による研究科全体の特色と入試制度についての説明動画を視聴頂き、その後、個別に指定された日時に zoom 上で担当教員が希望するコースに応じた説明を行った。

春期大学院入試説明会
開催期間：11月27日～12月5日(日曜除く)
各日とも9:00-20:00
参加者：4名

学位記伝達式・入学式

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行は、2020年の教務関係行事にも大きな影響を及ぼした。9月の学位記伝達式は、教職員ならびに修了生が列席する形で行われたが、式典の様子をオンライン配信することで会場入場者を減らし、出席者間のソーシャルディスタンスを確保しての開催となった。10月入学生を対象とした入学式は、



第43回 国立大学法人大学院環境科学関係研究科長等会議

本研究科は、環境関連研究者ネットワークの構築を図るために環境科学関係の研究科長等により組織される「国立大学法人大学院環境科学関係研究科長等会議」に参画している。富山大学が幹事校を務めた2020年の第43回会議は、COVID-19の状況を鑑み書面会議となった。

移動制限等により日本へ入国できない入学者も発生し、研究科長祝辞からオリエンテーションまですべてをオンラインによる動画配信で行った。8月に開設した研究科の公式 YouTube チャンネルはこうした非対面式の行事やイベント開催という要請を受けたものだが、これを契機として、研究科の雰囲気や実際に学外にまで広く伝達する新たなツールを得たともいえる。



- 協議事項 1: 組織変更に伴う「国立大学法人大学院環境科学関係研究科長等会議規定」の改正について
- 協議事項 2: 次回会議の開催について
- 承合事項 1: COVID-19 感染の拡大・収束時の各大学での対応状況と、教育研究への影響について
- 承合事項 2: 大学院国際化の対応状況(国際活動・国際共同研究・国際共著論文への組織的な取組と大学の財政的支援、学位審査への海外・学外研究者の加入状況、外国人研究者及びその家族への支援状況)

当研究科が学術交流協定締結に
中心的な役割を果たしている海外機関

国	大学 / 協定の種別	
インドネシア	バンドン工科大学	🏛️🏢👤
	ガジャマダ大学 農学部	🏛️🏢👤
エルサルバドル	エルサルバドル大学 工学・建築学部	🏛️🏢👤
スペイン	バリャドリッド大学	🏛️🏢👤
タイ	カセサート大学 工学部	🏛️🏢👤
中国	西安建築科技大学 環境・市政工程学院	🏛️🏢👤
	上海交通大学 環境科学与工程学院	🏛️🏢👤
台湾	国立成功大学	🏛️🏢👤
マレーシア	マレーシア工科大学 土木工学研究科	🏛️🏢👤
ロシア	ロシア科学アカデミー・極東支部	🏛️🏢👤
国際機関	国連大学 サステイナビリティ高等研究所	🏛️🏢👤
	国連大学 環境・人間の安全保障研究所	🏛️🏢👤

- 凡例
- 🏛️ 大学間協定
 - 🏢 部局間協定
 - 👤 リエゾンオフィス

当研究科が学術交流協定締結に
参加している海外機関

国	大学 / 協定の種別	
アメリカ	コロラド鉱山大学	🏛️
イタリア	ミラノ工科大学	🏛️
インドネシア	ブラウィジャヤ大学	🏛️
	ボゴール農科大学	🏛️
カナダ	ウォータールー大学	🏛️
韓国	ソウル大学校	🏛️
スウェーデン	チャルマース工科大学	🏛️
タイ	アジア工科大学院	🏛️
中国	同済大学	🏛️
	東北大学 (瀋陽)	🏛️
	北京航空航天大学	🏛️
	蘭州大学	🏛️
台湾	国立成功大学	🏛️
	国立台北科技大学	🏛️
ニュージーランド	オークランド大学	🏛️
フランス	ボルドー大学	🏛️
	セントラルスピレック	🏛️
	国立中央理工科学学校 ナント, マルセイユ, リール, リヨン	🏛️
ベトナム	チュイロイ大学	🏛️
	ホーチミン市工科大学	🏛️
モンゴル	モンゴル科学技術大学	🏛️

